

令和 2 年度 校長通信

Team 陽明



～自主 創造 敬愛 剛健～

沖縄県立陽明高等学校

沖縄県立陽明高等支援学校

発行者 校長 宮城 哲夫

2 学期がまもなく始動

” 不確実な未来に耐えること ”

～コロナ禍でも充実した高校生活を！～

1 学期を振り返ってみると、コロナの影響で 4 月から、長い休校、その後、分散登校、通常登校、3 年生のみ登校、1, 2 年生は分散登校と目まぐるしく、登校方法も変わり、不安に感じた生徒も少なくなかったかもしれません。今後の見通しが立たない不安の中、どういふうに私たちは高校生活を送っていけばいいのでしょうか。去った 4 月下旬の沖縄県立中部病院の高山医師の記事の一部を抜粋して紹介します。

「夏以降にコロナ再流行の恐れ 冬に大きな山も 不確実な未来に耐えよう！」

ウイルスは免疫のない私たちに何度も挑み、私たちは事業所、学校、施設、病院などの守り方を学んでいく。全てを停止させる必要はない。ただ、重症化しやすい高齢者や基礎疾患のある人を守り、医療崩壊を招かぬ程度に乗りこなさなければならない。

大切なのは不確実な未来に耐えること。

感染がどう広がるか、どれだけ続くか誰にも分からない。恐らく数年間、私たちは見通しの立たぬ社会を生きる。断片的な外出自粛の中、仕事をこなし、学校に通い、人生を楽しんでいくことが求められる。

これから先、見通しが立たない中、「学校に通い、人生を楽しんでいくこと」は簡単ではないかもしれませんが。ただ、その一つの方法として「将来、夢が叶った自分を想像し、そのために今できることをしっかりとやる」ということも充実した高校生活を送るヒントになると思います。苦手科目の克服、夢に関係することをネットで調べ



毎朝の検温の様子

たり、書物を読んだりするなど、やることは一杯ありますよ。さあ、来週から 2 学期です。互いに声を掛け合い、励ましながら、チーム陽明パワーで不確実な未来を乗り越えましょう！

青春を止めるな

「陽明生の主張」開催！

～みんなで共有しようよこの思いを～

21 日 (金)、4 校時に、25 分程度の間、総合学科の 3 年生で、「陽明生の主張」が行われました。感染症対策で、マスク、そして、運動場で、話し手と聞き手は 10M 程度、離れるなど感染症対策をしっかりと行って実施しました。男生徒 11 名、女子 6 名が、いろんな思いを表現したり、ネタ、一発芸を披露したり聞いている生徒・職員も含め、笑顔を久しぶりにみれたような気がします。今回、とてもうれしかったのは、急に企画が持ち上がったにもかかわらず、生徒が中心に準備をすすめ、4 日間の準備で成功に導いてくれました。今後もこの調子で、下級生を引っ張って下さいね！



司会の美月・思帆さん

一発芸を披露する晴希さん

ありがとう♪

マスクを本校の生徒へ寄付



～ 地すべり対策工事施工協力会から 2000 枚 ～

先週金曜日に本校の改築工事を行っている (有) 殖伸建設、(有) 明城建設、(有) 国吉組からマスク 2000 枚の寄贈がありました。協力会のみなさんから「総合学科・総合産業科の皆さんを支えている方々を信じ将来の夢と希望に向かい悔いの残らないように楽しんで学校生活を送って下さい。」という応援のメッセージがありました。マスクを受け取った西平生徒会長は、「私たちは、マスクを大切に使い、勉学に励みます。みなさんも暑い中、身体に気をつけ、仕事を頑張ってください。」と感謝の言葉を述べました。本当に、協力会のみなさん、ありがとうございました！



